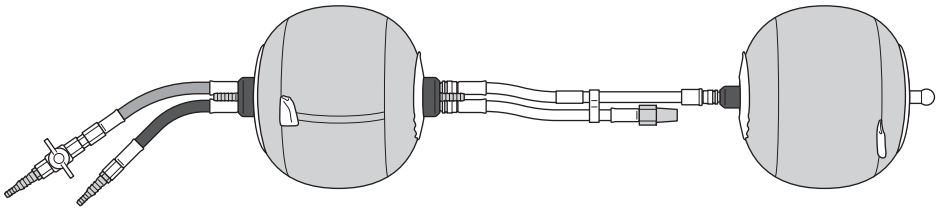
Asada
環境を守る親切ツール

溶接治具

パージダム

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

パージダム

安全にご使用いただくために

このたびは、パージダムをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の 2 つのレベルに分類されます。

⚠ 警告 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

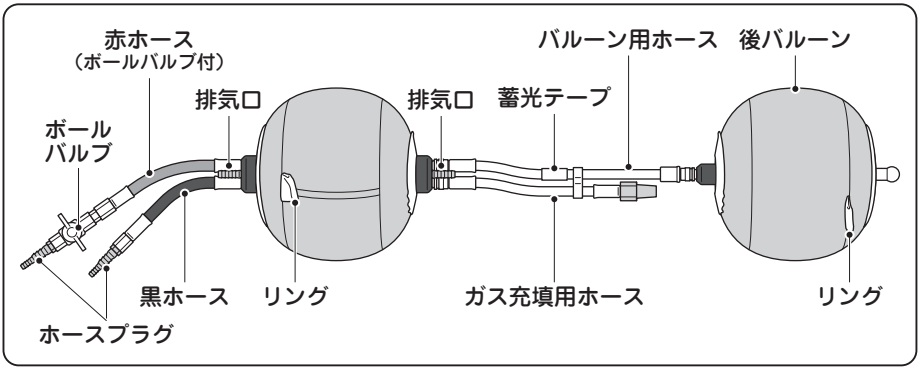
⚠ 注意 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

製品の構成 2
　各部の名称 2
　仕　様 2
　別販売品 2
準　備 3
　バルーンとホースの接続 3
　ボンベとパージダムの接続 4
使用方法 5
保守・点検・保管 7

製品の構成

各部の名称



仕　様

コード No.	品　名	使用最大径（㎜）	ホースプラグ接続口径（㎜）	バルーン用ホース（cm）	最大圧力（MPa）
SA002	パージダム 50㎜（2"）	55	7・10	30	0.1
SA003	パージダム 75㎜（3"）	84			0.1
SA004	パージダム 100㎜（4"）	112			0.1
SA005	パージダム 125㎜（5"）	138			0.1
SA006	パージダム 150㎜（6"）	168			0.1
SA008	パージダム 200㎜（8"）	224			0.09
SA010	パージダム 250㎜（10"）	276			0.06
SA012	パージダム 300㎜（12"）	324			0.05
SA014	パージダム 350㎜（14"）	368			0.04
SA016	パージダム 400㎜（16"）	417		60	0.04

別販売品

コード No.	品　名	備　考
S7064	酸素モニター	配管内の酸素濃度を測定します。
S7062	バルーン用ゲージキット	ゲージ(0～ 0.1MPa)とボールバルブホース口接続径φ9㎜
SA130	ホースセット 30cm	バルーン用ホースと充填用ホースのセット。 全サイズのバルーンに取付可能。 用途に応じて付け替えてください。
SA160	ホースセット 60cm	

パージダム

準　備

⚠ 警 告

◆絶対に改造しないでください。

◆修理技術者以外は絶対に分解しないでください。

◆使用する溶接機、ガスボンベの取扱説明書及び注意事項をよく読んでから使用してください。

◆適切に換気した状態で作業をしてください。
濃度の高いアルゴンや溶接ヒュームを吸引すると、窒息、めまい、吐き気、嘔吐、意識を失う可能性があります。

⚠ 注 意

◆溶接するパイプ内を清掃し、ほこりやバリが無いことを確認してください。
汚れが残ったまま溶接をすると、溶接の仕上がりが悪くなります。また、バリによってパージダムの出し入れ時にバルーンが傷が付き使用できなくなります。

◆新設の配管溶接に使用してください。
配管修理時に使用すると、配管内のオイルや水分がバルーンに吸収され寿命が低下します。

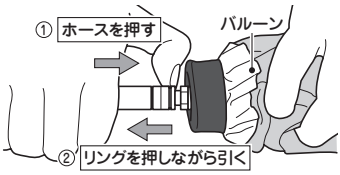
◆パイプを加熱して溶接する際(溶接前、中、後、何れの場合)には使用しないでください。
パージダムが損傷します。

バルーンとホースの接続

［バルーンを外す］

① ホースをバルーン側に押し当てた状態で、リングを指で押しながらホースを引いてください。

※ 回転させずにまっすぐ引いてください。
プラグが損傷する可能性があります。



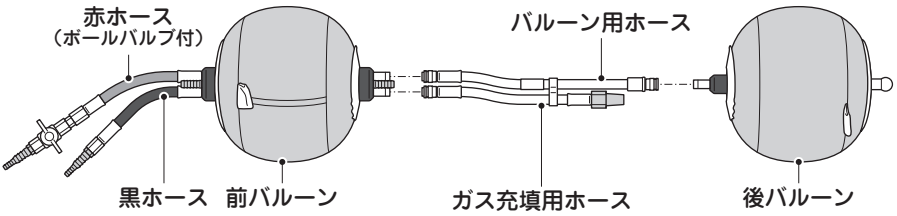
［バルーンを取付ける］

① 前バルーンの赤ホース(ボールバブル付)側のプラグとバルーン用ホースを接続してください。

② バルーン用ホースのもう片方と後バルーンを接続してください。

③ 黒ホース側のプラグとガス充填用ホースを接続してください。

④ バルーン用ホースを引っ張ってもバルーンが取れないか確認してください。



ボンベとパージダムの接続

①圧力・流量調整器をボンベに取付ける。

⚠ 注 意

◆圧力調整器は必ず流量計がついているものを使用してください。

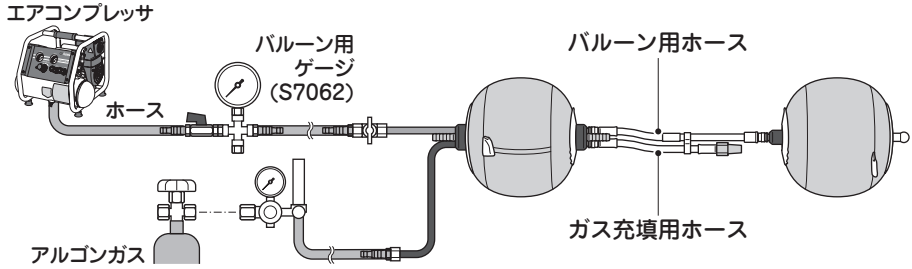
②各種ガス注入用ホースとパージダムを接続する。

黒ホースをアルゴンボンベに接続してください。

赤ホースはアルゴンガスもしくはエアコンプレッサや空気入れ等に接続してください。
長パイプの場合、ガス注入用ホースの端にバルブを付けてください。

※バルーンに最大圧力以上を掛けないでください。

【接続例】



③パイプに入れる前にバルーンが膨らみ、バルブを閉めて、バルーンが膨らんだ状態で保持することを確認してください。

また、アルゴンガスがガス充填ホースから排出することを確認してください。

⚠ 注 意

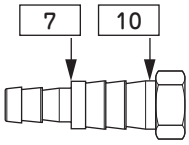
◆ホースプラグに逆止弁などを取り付けないでください。
作業後、管内から取り出す時にバルーンからガスが排出されず、取り出せなくなります。

■ホースプラグ

ホースプラグは 2 段階になっています。

内径 7㎜のホースに接続する場合は、【 1 段目 】までホースが差込めます。

内径 10㎜のホースに接続する場合は、【 2 段目 】までホースが差込めます。



ホースプラグ

パージダム

使用方法

①パイプの位置合わせをし、溶接に必要となる適切な隙間を空けてください。

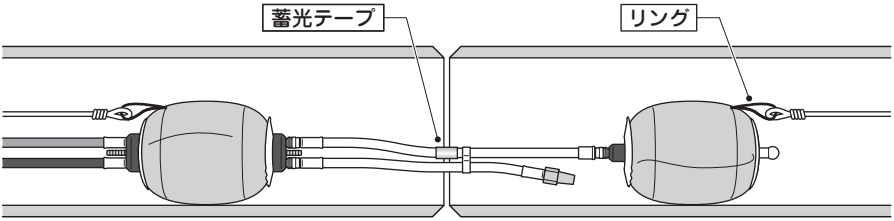
②パイプの中にパージダムを入れ、適切な位置に移動させます。

バルーンに付いているリングにロープや紐をつないで、蓄光テープを溶接する箇所を中心にしてバルーンが均等に位置するよう位置合わせをしてください。

アルゴンガスのホースを引張って位置調整、取り出しをしないでください。

※加熱溶接には使用できません。

※溶接時の熱によって蓄光テープが溶ける場合があります。
その場合は蓄光テープを取り外して使用してください。



⚠ 注 意

◆パージダムが必ず中央に位置するようにしてください。
バルーンが溶接箇所に近すぎたり、溶接箇所の真下にバルーンがあると製品の寿命を縮め、損傷の原因になります。

◆熱がバルーンに達する可能性がある場合、
別販売品のホースセット 60cm にホースを付け替えて使用してください。

◆溶接時のパイプ表面温度は、温度計や、温度式クレヨン等で確認してください。

③溶接テープ（市販）を巻き、赤ホースから空気もしくはアルゴンガスを注入し、バルーンを膨らませます。

※最大圧力を超えない様に注意してください。

※バルブ手前に圧力計を付けると、溶接中にバルーンの膨らみ状態を確認することができます。

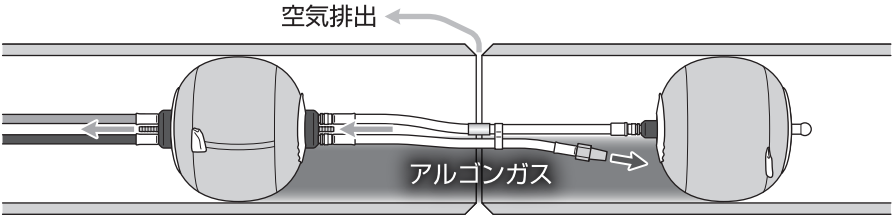
※アルゴンガスの注入を開始する時は、流量計のバルブが閉じていることを確認してから、ボンベのバルブを開けてください。

バルーンが膨らんだ後は、ボールバルブを閉めてください。

④パイプ内の空気を排出します。

黒ホースからアルゴンガスを注入します。

空気排出時の流量は 20L/ 分以下に設定してください。
流量が大きすぎると、パイプ内に乱流が起き、空気が排出されるまでに時間がかかります。



⑤溶接を開始します。

酸素モニター等で、パイプ内の酸素濃度が適切な数値に達したら、アルゴンガスの流量を調整しながら溶接をしてください。
酸素濃度が下がらない場合は、パイプの隙間を少なくする様にしてください。

⑥溶接部とパイプを冷まします。

溶接が完了してもすぐにパージダムを引き出さないでください。酸化を防ぎ、溶接部分を冷却する、バルーンを保護するため、アルゴンガスを流し続けてください。

⑦パージダムをパイプから取り出す。

パイプが冷却されたことを確認し、流量計のバルブを閉じ、ガスの充填を止めてください。
バルーン内から空気を排出してください。
リングに付いたロープを引張ってパージダムを取り出してください。

⚠ 注 意

◆バルーンを引張って抵抗がある場合は、まだバルーン内に空気が残っている可能性があります。
バルブを開けて、バルーン内の空気を排出してください。
バルーンが拡張している状態で取り出すとバルーンが損傷します。
バルーンを挿入する時と同じ位の力で引張れる状態になってから、バルーンを引張ってください。

◆パージダムの出し入れは、必ずバルーンのリングにロープなどを付けて引張ってください。
ホースを引張らないでください。
バルーンや継手の損傷の原因になります。

◆パージダム繊維外殻は耐熱温度は 300℃、パージダム内のラテックス製バルーンは耐熱温度は 70℃、バルーン接続部の耐熱温度は 110℃です。
パージダムに熱が加われば破損します。
アルゴンガスの挿入を途中で止めたり、直接スパッタ等がパージダムに熱が加わると損傷します。
また複数回溶接、ルートギャップが広いとバルーンに熱が加わりやすくなり、破損します。

◆正しく使用していても、長期間使用していなかったり、保管方法によって、中のバルーンが劣化して損傷します。

保守・点検・保管

●以下の箇所を定期的に点検し、適時修正または交換を行ってください。

・バルーンが焦げ、穴が開いている。

・ホースに亀裂が入っている。

・バルーン気密確認。

これらの点が見受けられた場合、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

●温度、湿度の変化が激しいところや、直射日光のあたるところに保管をしないでください。

バルーン内のゴムが劣化しやすくなり、寿命が短くなります。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL (052) 911-7165　E-mail：sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　（バンコク）
台湾浅田股份有限公司　（台　北）
アサダ・ベトナム社　（ホーチミン）
アサダ・インド社　（ムンバイ）
上海浅田進出口有限公司　（上　海）
アサダ USA　（オレゴン州・ユージン）

工　場
犬山工場　（愛知県・犬山市）
アサダ第一精工株式会社（松阪市）
アサダ・マシナリー社　（バンコク）

製品の使用方法に関するお問合せは
0120-114510（イイシゴト）
（受付時間）9:00-12:00／13:00-17:00（土・日・祝日は除く）

Ver.10 コード No. IM0264